**平成３０年度　事業報告書**

特定非営利活動法人たねまき

１　事業の成果

虐待防止を第一に掲げ、外部研修や職員会議、個別面談を実施し職員全体で意識の共有に努めた。これに加え各職員の技能や経験が増したことで、さらに生活支援技術が向上し安定した事業所運営が行えた。

財務、労務に関しては、深代会計事務所、坂口労務士事務所にそれぞれ業務を委託。法令を順守し健全な法人運営が行えた。

（１）グループホームレインボー南桜井の運営、管理事業

グループホーム開設から11年が経過し各利用者の生活は安定している。事件、事故もなく平穏に過ごしていただけた。ご近所とのトラブルも無く、地域に根差した暮らしができている。

健康面では、定期的にバイタルチェックを行い、異変が認められれば迅速に通院し早期治療を心掛けた。バランスの良い食事の提供や手洗いの奨励、利用者が頻繁に触れる箇所の清掃、消毒、予防接種の実施により、今年度は大きく体調を崩した利用者は見られなかった。

防災設備の維持管理、備品の拡充を行い防災意識が薄れないよう訓練も欠かさず行った。

余暇については、地域の催し物参加やカラオケ、お花見など利用者の希望に沿った支援を行い、不足している利用者に対しては外部移動支援サービス利用を支援した。

（２）生活介護事業所ワークショップ野の花の運営、管理事業

各利用者の個性に配慮した創作活動やスポーツ、レクリエーションの支援を行った。また、季節行事や誕生日会、掲示物作成を通じて、利用者と職員が同じ目線で触れ合い共に楽しく過ごすことができた。

利用者の健康については、毎朝のバイタルチェックや石川医師による内科検診、出張健康診断にて状態を把握し各ご家庭との情報交換を密に行った。

防災については、設備の維持管理、備品の入れ替えや強化に努め、地元消防署の提案や指導を得ながら様々な場面を想定した訓練を実施した。

（３）機関紙、情報誌の発行による障がい者自立支援及び地域福祉向上に関する普及啓発事業

ホームページ(<http://tanemaki218.jimdo.com/>)の維持管理、会報「たねまき」、レインボー南桜井「にじつうしん」、ワークショップ野の花｢毎月の予定表｣の発行、リーフレット、ポスターの作成を通じ、当法人の活動報告、および主旨の発信を行った。

（４）地域社会交流及びネットワーク構築

音楽会やお祭り、福祉販売、地域清掃等を通じて地域社会との交流がなされ、相互理解、自己実現の場として機能することができた。

社会福祉協議会や杉戸町障がい者協議会、特定非営利活動法人障害者と共に生きるあしたば等とのネットワーク強化に努めた。

特定非営利活動法人たねまき

２　事業の実施に関する事項（平成３０年４月１日 ～ 平成３１年３月３１日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者  の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | | 支出額  (千円) |
| 障がい者（知的障害）ケア（グループ）ホームの運営、管理事業 | グループホームレインボー南桜井の運営管理 | 平成30年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30及び周辺地域 | 11名 | 障がい者 | 6名 | 22,728 |
| 障がい者の就労・生活・余暇等の支援事業 | 生活介護事業所ワークショップ野の花の運営管理 | 平成30年4月1日より通年 | 北葛飾郡杉戸町宮前184-1及び周辺地域 | 14名 | 障がい者 | 9名 | 22,331 |
| 機関紙、情報誌の発行による障がい者（児）自立支援及び地域福祉向上に関する普及啓発事業 | ・会報「たねまき」、「にじつうしん」、「毎月の予定表」の発行  ・ホームページ維持管理  ・リーフレット、ポスター作成 | 平成30年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30  杉戸町宮前184-1 | 2名 | 障がい者  家族  会員  関係機関  一般市民 | 不特定多数 | 20 |
| 地域社会交流及びネットワーク構築、その他、目的を達成するため必要な事業 | ・音楽会、お祭りの実施  ・ボランティア受け入れ（Gｈ、生介）  ・見学受け入れ | 平成30年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30  杉戸町宮前184-1 | 14名 | 障がい者  家族  会員  関係機関  一般市民 | 80名 | 116 |

(2) その他の事業　　　実績なし